研修施設群指導の流れ

日本心血管インターベンション治療学会
専門医認定医制度審議会
研修施設認定・施設群小委員会

研修施設群制度

従来の専門医育成のための研修施設・研修関連施設に属さない当学会認定医が、特定の研修施設が基幹となって構成する研修施設群のなかの施設に在籍しながら、専門医の下で専門医資格取得のための教育を受け、専門医受験資格に必要な経験を得ることを目的としております。

申請条件

1. 研修施設（X）・研修関連施設（Y）の認定施設以外の施設
2. 専門医受験を目指す専攻医（認定医）が在籍していること

指導方法

- 基幹施設の**施設群指導医が主導し**、連携施設に連絡を取ってください。
- 様々な指導の選択肢やアイデアを提示し、連携施設との合意を得てください。
- 連携施設に在籍する認定医のうち、CVIT専門医取得を希望する認定医を双方で確認してください。

その際、指導・教育の実施、また、その運営に係る費用については、基幹施設と連携施設の協議のもと、双方で取り決めをお願いします。

指導の具体的な指導方法：

① eCasebookシステムを用いたケーススタディおよび事前コンサル

② 施設群指導医と認定医との往来による症例検討

③ 施設群指導医が主催する研究会でのディスカッション（研究会は既存の研究会も可であるが、聴講のみではなく、必ずディスカッションすることが必要となる）

等、**CVIT研修カリキュラムの履修を目的とし、具体的な指導方法について、CVITでは限定いたしません。**

提出物

すべてeCasebook上にご提出ください。

①専攻医報告書（eCasebook 上（CaseList）のディスカッションまたは研修報告）
※上半期（1月～6月）、下半期（7月～12月）にそれぞれ最低1 回を必須
研修施設群 eCasebook 上のディスカッションによる指導を実施した場合、ディスカッション履歴が確認できないものや、期間内の日付で実施が確認できないものは、指導記録にはなりません。

②研修カリキュラム達成度評価表「自己評価」の入力
研修カリキュラム達成度評価表の全項目の現状を入力ください。

③担当指導医からの評価
①、②の完了後、担当指導医より研修カリキュラム達成度評価表「指導医評価」を入力ください。

※連携施設申請後、在籍しているだけでは研修歴にはなりません。基幹施設の施設群指導医の指導を受けて（上半期（1 月～6 月）、下半期（7 月～12 月）にそれぞれ最低1回の指導記録提出を必須）、初めて研修歴として認められます。

※構成中に異動、研修施設および研修関連施設へ認定された施設の専攻医は、連携期間分をご提出ください。

※専攻医の有効な研修期間および指導医インセンティブは、専攻医報告書および研修カリキュラム達成度の全項目入力を確認し、専門医認定医制度審議会にて判定されます。

判定後、研修歴通知書、インセンティブ通知書を個別でメールにて送付いたします。

2023年1月1日～12月31日構成

指導終了後の報告書提出について

2023年1月1日~12月31日まで指導終了後の指導医報告書提出について（基幹施設）

指導医は、指導を担当した連携施設の専攻医（認定医）1名につき、年1回研修カリキュラム達成度表を提出していただきます。

2024年2月頃までに、eCasebookにて、ご提出いただきます。

最終的に（累計3年間の研修を終え）、施設群指導医は、指導した認定医の知識・技能が専門医に適していると判断した時、その認定医の専門医試験の申請書類の推薦者欄に署名していただきます。

2023年1月1日~12月31日まで指導終了後の報告書提出について（連携施設）

専攻医（認定医）は、研修カリキュラム達成度評価表に自己評価の入力が必要となります。

専攻医（認定医）の自己評価が完了しないと、指導医が評価入力できません。

※入力方法については、「eCasebook利用マニュアル」をご確認ください。

2023年指導修了の評価スケジュール

◆2024年2月頃まで

【専攻医】

2023年専攻医カリキュラム達成度表の入力

【指導医】

2023年指導報告書の入力

提出物および評価確認後に専門医認定医制度審議会にて審議の上、研修歴通知書、インセンティブ通知書を個別でメールにて送付いたします。

2024年研修施設群運用スケジュール

◆2023年秋ごろ連携申請開始予定
構成期間：2024年1月1日～12月31日
現在構成中の施設も、構成継続のために毎年申請が必要です

◆2024年1月-2月
2023年運用から2024年運用のシステム上の構成移行期間

◆2024年3月頃
2023年1月からの専攻医報告書の入力開始